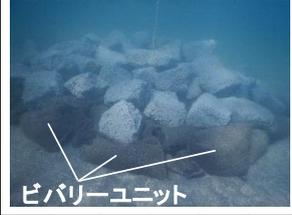


鉄鋼スラグを活用した藻場再生「海の森づくり」、今年度は全国 21 カ所で実証試験開始

日本製鉄株式会社（以下、日本製鉄）は、磯焼けの原因の一つとされる鉄分不足^{※1}の解消による藻場の再生・回復を通じた、生物多様性保全と地球温暖化防止への貢献に向け、鉄分を供給する鉄鋼スラグ製品「ビバリー[®]ユニット」を実海域に設置する取り組みを行ってきました。本年 2023 度は、新規 15 カ所を含めた合計 21 カ所^{※2}の漁業協同組合や自治体と協業し、実証試験を開始します。

昨年 2022 年度は、北海道（増毛町、泊村、古平町、鹿部町）、宮城県（女川町）、三重県（志摩市）の 6 カ所の海域でビバリーユニットを施工しました^{※3}。各海域の漁業協同組合の方々から「全体的に藻場の状態が良くなり、ビバリーユニットの効果を認識した（北海道鹿部町）」、「施肥を行わなかった対象区と比較し、明らかに繁藻している（三重県志摩市）」、「ウニやアワビの実入りが良くなった（宮城県女川町）」などの声が寄せられており、繁藻を確認することができました。

【2022 年度に施工実施した海域の事例】

	施工直後（2022/10）	今年春（2023/5）	
【北海道鹿部町の事例】 ～鹿部漁業協同組合と共同～	 <p>ビバリーユニット</p>	 <p>コンブ等が繁藻</p>	 <p>繁藻したコンブ</p>
【三重県志摩市の事例】 ～三重外湾漁業協同組合と共同～	 <p>ビバリーユニット</p>	 <p>アラメ等が繁茂</p>	 <p>アラメ等が繁茂</p>

※鹿部町の写真撮影：矢口港湾建設ヤグチダイバー株式会社

今年度施工する 21 カ所の海域では、鉄分施肥材の設置前後での海水中の鉄分濃度の変化、海藻の成長の継続的な状況調査を行うことで基礎データを集積し、更なる藻場造成促進を図っていく予定です。

日本製鉄は、常に世界最高の技術とものづくりの力を追求し、国連で採択された「持続可能な開発目標」（SDGs）にも合致した活動（「気候変動に具体的な対策を」「海の豊かさを守ろう」）を通じて、これからも社会の発展に貢献していきます。

※1 磯焼けの原因の一つとされる鉄分不足：

海藻のライフサイクルにおける成長（配偶体・孢子体の成熟）には、Fe イオンが必要であることが知られています。日本の沿岸海域で過去数十年にわたり進行している「磯焼け」は、Fe イオンをはじめとする栄養塩の不足が原因の一つとされています。

※2 今年 2023 年度に施工実施した 21 カ所の概要（予定も含む、★印は新規協業先 15 カ所）

都道府県	場所	協業先	施肥量	施工完了時期
北海道	増毛郡 増毛町	増毛漁業協同組合	50 トン	2023年10月
	古宇郡 泊村	古宇郡漁業協同組合	33 トン	2023年11月
	古宇郡 古平町	東しゃこたん漁業協同組合	15 トン	2023年10月
	鹿部町	鹿部漁業協同組合	30 トン	2023年10月
	八雲町 熊石	★ ひやま漁業協同組合	5 トン	2023年11月
	森町	★ 森町、砂原漁業協同組合	16 トン	2023年10月
	森町	★ 森町、森漁業協同組合	15 トン	2023年10月
	函館市	★ 戸井漁業協同組合(本所地区)	5 トン	2023年9月
	函館市	★ 南かやべ漁業協同組合(尾札部支所、川汲支所)	10 トン	2023年9月
	函館市	★ えさん漁業協同組合(楸法華支所)	20 トン	2023年10月
宮城県	女川町	宮城県漁業協同組合 女川町支所	40 トン	2023年9月
千葉県	君津市	★ 千葉県漁業協同組合連合会、君津市	人工石、カルシウム改質土活用	2023年8月
三重県	志摩市 船越浜	三重外湾漁業協同組合、船越漁業権管理委員会	32 トン	2023年10月
和歌山県	那智勝浦町	★ 紀州勝浦漁業協同組合、那智勝浦町	10 トン	2024年2月予定
	那智勝浦町	★ 宇久井漁業協同組合、那智勝浦町	10 トン	2023年11月
	那智勝浦町	★ 和歌山東漁業協同組合那智支所、那智勝浦町	10 トン	2023年11月
	那智勝浦町	★ 和歌山東漁業協同組合浦神支所、那智勝浦町	10 トン	2023年12月
	すさみ町	★ 和歌山南漁業協同組合、すさみ町	10 トン	2023年11月
兵庫県	南あわじ市	★ 南あわじ市	人工石活用	2023年11月
福岡県	福岡市	★ 博多湾漁業権管理委員会	6 トン	2023年12月
大分県	佐伯市	★ 大分県漁業協同組合 上入津・下入津支店	28 トン	2023年12月

合計 355 トン

※3：昨年度実施についてのプレスリリース（参考）

[鉄鋼スラグを活用した藻場再生「海の森プロジェクト」、新たに 6 カ所で試験開始 CO2 の吸収・固定が期待されるブルーカーボン効果も検証 \(nipponsteel.com\)](#)

【参考】日本製鉄公式 Youtube チャンネル：ブルーカーボン動画 UMIMORI プロジェクト

<https://youtu.be/Eq7n19kEnK4>

本件に関するお問い合わせ先：総務部広報センター TEL：03-6867-2977